2026年度 第6回（11月）北辰テスト対策 予想問題　解答・解説

英語

2　問1（4点）

bring

答え: bring

・日本語のメモ「読み終えた本を1冊、図書室に**持ってきて**ください」に対応。

・"Please (bring) one book that you have finished reading to the library."（**bring**＝「(話し手のいる場所へ)持ってくる」)。

・b で始まる語という条件にも合う。

2　問2（A）（3点）

イ（which）

答え: イ (which)

・"You can take home a book (which) was brought by another student."＝「ほかの生徒が持ってきた本を持ち帰れます」。

・先に来る a book（**もの**）を説明し、あとに動詞 was brought が続くので、**主格の関係代名詞** which（that も可)。

・who は人に使う。whose は「〜の」でそのあとに名詞が続く。what はその前に名詞を置かない。

2　問2（B）（3点）

ウ（bringing）

答え: ウ (bringing)

・"The students (bringing) a book will get a bookmark."＝「本を持ってきた生徒はしおりをもらえます」。

・**現在分詞（〜ing）が名詞のあとに置かれて説明する**形。bringing a book が the students を後ろから説明している。

・bring（原形）・brought（過去分詞）・to bring は、ここでは the students を説明する形として合わない。

2　問2（C）（3点）

イ（have）

答え: イ (have)

・"Over fifty books (have) already been collected."＝「すでに50冊以上の本が集められています」。

・**現在完了の受け身（have been＋過去分詞)**。「すでに〜された」という完了を表す already が目印。

・主語 Over fifty books は複数なので has は不可。do・are は already been collected とつながらない。

2　問3（4点）

（解答例）I think you should bring a book with an easy story. Other students can enjoy it because it is easy to read.

解答例: I think you should bring a book with an easy story. Other students can enjoy it because it is easy to read.

訳: やさしい話の本を持ってくるのがよいと思います。読みやすいので、ほかの生徒も楽しめます。

採点ポイント:

・語群（easy / story / because）から1語以上使用

・1文目＝すすめる本のタイプ、2文目以降＝その本をすすめる具体的な理由

・全体で2文以上

・（日本語のメモ）の内容（読み終えた本を1冊持ってくる、ほかの人の本を持ち帰る）と矛盾しないこと

・文法・スペルの正確さ

3　問1（3点）

B

答え: B

・補う文: **But my grandfather kept working under the hot sun that day.**（でも、その日、祖父は暑い日ざしの中で働き続けました）

・**that day** は、直前に出てくる「去年の夏の、ある日」を指す。また But は、前の「手が痛くてやめたかった」と対比している。B の前は I wanted to stop. なので、「でも祖父は働き続けた」とつながり、あとの "That night" にも自然につながる。

・A に入れると、that day が指す日がまだ出てきていない。C に入れると、祖父の言葉のあとで But でつなぐ理由がない。

3　問2（4点）

2番目=ア（he）・4番目=エ（so）

答え: 2番目 = ア (he), 4番目 = エ (so)

・正しい語順: **why he works so hard** → "I wanted to know why he works so hard."

・1: why (イ) / 2: he (ア) / 3: works (ウ) / 4: so (エ) / 5: hard (オ)

・**間接疑問**：疑問詞（why）のあとは、ふつうの文と同じ〔**主語＋動詞**〕の順（he works）。Why does he work ...? のように does を使う形にはしない。

・**訳:** ぼくは、祖父がなぜそんなに一生けんめい働くのか知りたかった。

3　問3（3点）

ウ（standing）

答え: ウ (standing)

・"There is an old apple tree (standing) in front of his house."＝「祖父の家の前には、立っている古いりんごの木があります」。

・**現在分詞（〜ing）が名詞のあとから説明する**形。standing in front of his house が an old apple tree を説明している。

・stand・stood・stands は、ここでは名詞を説明する形として合わない。

3　問4（4点）

for fifty

答え: for fifty

・本文 "He has grown apples **for fifty years**." より。

・**現在完了（have/has＋過去分詞）の継続**：過去から今までずっと続いていることを表し、期間は **for ＋ 期間** で示す。

・**訳**: Hinaの祖父は50年間りんごを育ててきました。

3　問5（4点）

ア

答え: ア

・第2段落 "I visited his orchard every summer, but I only played there." と一致。

・イ: 祖父は Nagano に住んでいて、りんごを50年育てている。去年の夏に引っ越したとは書かれていない。

・ウ: "It was harder than I thought." なので、思ったよりむずかしかった。

・エ: 祖父は "I want people who eat my apples to be happy." と言っていて、お金のためとは書かれていない。

4　問1（4点）

各クラスの生徒が、自分たちで給食を配ること。

答え例: 「各クラスの生徒が、自分たちで給食を配ること。」

・下線部①の That は、直前のRyoの発言 "Students in each class serve lunch by themselves." の**内容全体**を指す。

・**採点ポイント**: 「生徒が（自分たちで）給食を配る」の内容が入っていること。「各クラスで」も入っているとよい。

・直後の "teaches us to work together（協力することを教えてくれる）" とつながるかを確かめる。

4　問2（4点）

2番目=ウ（Italians）・4番目=エ（on）

答え: 2番目 = ウ (Italians), 4番目 = エ (on)

・正しい語順: **what Italians eat on Christmas** → "I want to know what Italians eat on Christmas."

・1: what (イ) / 2: Italians (ウ) / 3: eat (ア) / 4: on (エ) / 5: Christmas (オ)

・**間接疑問**：疑問詞（what）のあとは〔**主語＋動詞**〕の順（Italians eat）。what が eat の目的語になっている。

・**訳**: イタリアの人たちがクリスマスに何を食べるのか知りたいな。

4　問3（3点）

エ

答え: エ

・Annaの発言 "We eat a special cake called panettone."（クリスマスに食べる）と一致。

・ア: イタリアでは多くの生徒が**家に帰って**昼食を食べる。

・イ: 毎週日曜日にパスタを作るのは**Annaの**祖母。

・ウ: Ryoがイタリアに行ったとは書かれていない。

4　問4（3点）

ア

答え: ア

・Ryoの母の "Would you like to help me?"（手伝ってくれませんか）は、相手に頼む・すすめる表現。「はい、喜んで」と受ける **Sure, I'd love to.** が自然。

・直後に "Thank you." と言われ、Annaがたこ焼き作りを手伝うことが分かる。

・イ・ウ: 答え方が質問の形と合わない。エ: 相手の不幸な話を聞いたときの返事。

4　問5（3点）

ウ（eaten）

答え: ウ (eaten)

・"This is the first time I have (eaten) takoyaki."＝「たこ焼きを食べるのはこれが初めてです」。

・**現在完了（have＋過去分詞）の経験**。the first time ... have ＋過去分詞は「〜するのは初めて」という決まった形。eat の過去分詞は eaten。

・ate（過去形）・eat（原形）・eating は have のあとに置けない。

4　問6（4点）

イ

答え: イ

・Annaの発言 "In Italy, we also eat octopus" と一致。

・ア: "the first time I have eaten takoyaki" なので、初めて食べた。

・ウ: Ryoの母は "Please put a small piece of octopus in each hole." と言っていて、たこを入れる。

・エ: "We often make takoyaki when our family or friends get together" なので、「お正月だけ」ではない。

4　問7（4点）

Why don't

答え: Why don't

・本文の4の Anna の発言 "**Why don't** we cook Italian and Japanese food together at the school festival?" より。

・**Why don't we 〜?**＝「(いっしょに）〜しませんか」。相手を誘う表現で、Let's 〜. と同じように使う。

・文頭なので Why の W は大文字。

5　問1（3点）

ウ

答え: ウ

・第2段落 "After school, she stayed with me and taught me again and again." と一致。

・ア: "I was not good at math." なので、得意ではなかった。

・イ: Ms. Tanaka は "Let's try again." と言い、おこらなかった。

・エ: 先生に会いに行ったのは "Last month"（先月）。

5　問2（3点）

ア（who）

答え: ア (who)

・"help students (who) have trouble with their studies"＝「勉強で困っている生徒を助ける」。

・先にある students（**人**）を説明し、あとに動詞 have が続くので、**主格の関係代名詞** who。

・whose はあとに名詞が続く。what・which は人には使わない。

5　問3（6点）

（解答例）① I want to be a nurse. ② When I was sick, a nurse was kind to me. I felt safe because of her. I want to help sick people like her.

解答例: ① I want to be a nurse. ② When I was sick, a nurse was kind to me. I felt safe because of her. I want to help sick people like her.

訳: ① 私は看護師になりたいです。② 私が病気のとき、看護師さんがやさしくしてくれました。その人のおかげで安心できました。私も彼女のように病気の人を助けたいです。

採点ポイント:

・①は I want to 〜. の形で、夢が1つ書かれている

・②は、その夢をもつ具体的な理由が2文以上

・全体で3文以上

・文法・スペルの正確さ（夢は何でもよい）